

# 広報

ぼし

# キラキラ★たまみず

平成26年12月20日 発行 [玉水まちづくり協議会]  
第34号

発行責任者：会長 前岡 弘國  
連絡先：☎・Fax(079)506-3163

おんたけさん  
昨年は、日本各地で大雨による土砂災害や御嶽山の噴火による災害などが発生しました。隣の丹波市でも集中豪雨による災害があり、甚大な被害が出ました。篠山市ではそのような大規模災害は起きましたが、各地の災害には多くの方々が心を痛められたことでしょう。

そのような中で、皆様方が健康で新しい年を迎えることができましたこと、本当に喜んでとうございます。玉水まちづくり協議会でも、昨年は「城北地区の地図作り」や「しいたけ栽培」、「玉水高齢者の集い」などの新しい活動にも取り組むことができました。これも、城北地区住民の方々の温かいご支援があればこそと感謝しております。ありがとうございます。

今年も、皆様方のご要望やご意見を承(うけたまわ)りながら進めていきますので、よろしくお願いいたします。

11月16日（日）

## ◆玉水高齢者の集い 行われる

今年度、城北地区にお住まいの高齢者の方々を対象にした交流の場を持ちたいと考え、「玉水高齢者の集い」を開催いたしました。当日は好天に恵



[岩谷 晃圓様の楽しいお話。]

まれ、約30名もの参加のもと、イスに腰掛けての体操や漫才などで、すてきなひとときを過ごしていただくことができました。

初めに、藤岡奥の東窟寺の岩谷 晃圓様によるお話を聞きました。本当の「幸せ」は自分で見つける努力をしなければ見つからない。衣・食・住が充足し、健康であるだけでは「幸せ」とは言えず、友達を見つける努力を願っていますと話されました。

続いて、体操で体をほぐし、まるっこーずさんによる漫才で心もほぐすことができました。参加された方は心も体もリラックスされ、笑顔で家路につかれました。

今年度、やむなく参加できなかった方は来年度も開催しますので、ぜひご参加下さい。

お待ちしています。



## 9月15日（月） ◆ 城北地区 敬老会 行われる

石橋実行委員長のあいさつの後、米寿の3名の方に祝品が贈られました。

黒岡 円増 博夫様  
東沢田 澤本 はな子様  
東沢田 澤本 香様  
おめでとうございます



おもも  
〔緊張した面持ちの  
児童代表の言葉。〕

また、児童代表より、お慶びの言葉と鉢植えの花が贈られました。児童の心のこもった言葉に、大変感激されたご様子でした。

今日の敬老の日をお元気でお迎えになります。これまで築かれてこられた業績に感謝いたしますとともに、それを私たちが引き継ぎいくことをお約束します。今日は、思う存分楽しんでいただきたいと思います。

〔石橋実行委員長のあいさつ要旨〕

[篠山中学校吹奏楽部の演奏です。]

表彰に続いて、アトラクションを楽ししました。篠山中学校の生徒による吹奏楽の演奏や、玉民舞サークルまどかによる舞踊、玉水童謡唱歌の会の唱歌など、たくさんの発表に心ゆくまで堪能されていました。

高齢者の方々のお元気なお姿を目にし、末永く長生きしていただきますよう心よりお祈りしています。

## 10月26日（日） ◆ 城北地区親睦運動会 行われる



抜けるような青空の下、たくさんの城北地区の住民参加を得て、親睦運動会が行われました。玉入れや縄引き、青空ボールなど、それぞれの種目に和気あいあいとした雰囲気を感じる姿が見られました。



昼休みには、和太鼓の演奏が披露され、和太鼓の持つ迫力に感動しながら聞き入りました。

[和太鼓による演奏の披露。]

## ◆ 城北地区人権学習会 行われる 11月9日(日)

講師に、元中学校教員の酒井 雅和様を迎え、人権学習会が開催されました。元気に中学校の先生としてご活躍されていた酒井さんに、突然の病魔が襲い、全盲になってしまわれました。

そのため、自暴自棄に陥ってしまったとき、京都にある「ライトハウス」を見つけ、ここで様々な訓練を受けられ、自分を取り戻されたとのこと。その生き様のすごさもさることながら、よく通る声でしっかり話される姿に、集まつた多くの方々が胸を打たれました。

特に印象に残っている言葉に、「盲目は不自由なれど、不幸にあらず。」というのがあります。人が人として生きていくためには、[愛される、ほめられる、役に立つ、必要とされる] ことがとても大切なことだと話されました。

11月22日(土)

## ◆ 三世代交流グランドゴルフ大会行われる

朝から快晴に恵まれ、約50名もの多くの方々の参加を得て、グランドゴルフ大会が開かれました。ベテランの方だけでなく、初心者の方のホールインワンにも大きな歓声や拍手が上がっていました。逆に、打球に勢いがあり過ぎてゴールを大きく越えてしまい、笑いを誘っている姿もありました。そのような真剣なプレーの中にも、和気あいあいとした雰囲気が感じられ、とても有意義なひとときを過ごすことができました。



[競技を通してのすてきなふれ合い。]

そして、上位成績の方やホールインワン達成者には、賞品が手渡されました。

そのときの皆様の笑顔がとてもすてきでした。



[ユーモアを入れながら、熱く語られる酒井 雅和様。]



[高校生にもおにぎり作りを手伝ってもらいました。]

その後、玉水会館に場所を移し、昼食をいただきました。メニューは、黒枝豆入りのおにぎりとしし汁で、愛育班や福祉部の方、鳳鳴高校のインタークト部の生徒さんとその顧問の先生に、調理をお世話になりました。



[おいしい昼食をいただき、満足でした。]

**今後の活動予定** 冬の星空観察会を行います。冬の星座が美しく見えますので、ぜひともご参加下さい。とくにご用意していただく物はありませんが、とても寒い時期ですので、暖かい服装でお越し下さい。

◆ 1月23日(金) ▶開始時刻：午後6時30分 ▶場所：玉水会館

## ◆ しいたけ栽培講習会 行われる 10月4日（土）



大谷にお住まいの円増 節夫様を講師に迎え、「しいたけ栽培の取り組み」についての講習会を実施しました。

原木の選び方やしいたけ菌の植え付け、その後の管理の仕方などの基本的な内容を分かりやすくていねいに教えていただきました。参加者の中には、しいたけ栽培が初めての方もあり、メモを取りながら熱心に聞いておられる姿がありました。

[熱心にお話される円増 節夫様。] まちづくり協議会では、原木を伐採してホダ木を作り、それにしいたけ菌を植え付ける「しいたけ栽培」の活動を計画しています。今から、たくさんの収穫を楽しみにしています。

## ◆ しいたけ栽培用の 原木伐採とホダ木作り

11月15日（土）と  
23日（日）

手に手にのこぎりやなた、チェーンソーを持って野間地区の里山に集まり、しいたけ栽培の原木となるコナラの伐採を行いました。近くにお住まいの川崎 善文様に伐採の要領を教えていただきながら、20~30mもある木を倒しました。そして、倒された木を1mの輪切りにして、ホダ木を作りました。

ただ単に木を倒すだけでなく、ホダ木にならないものは薪にしたり、小枝はチップにして山に返したりと、  
[チェーンソーを使っての伐採。]  
里山整備について考えながらの作業にもなりました。因みに、チッパーは丸山の佐古田さんからお借りしました。



[チッパーで小枝を粉碎しました。]

23日（日）は、できたホダ木を乾燥させるための積み上げ作業と、薪になる木をふもとに運び下ろす作業を並行して行いました。ホダ木に適さない1mほどの太い木を下ろすのは重労働でしたが、何とかふもとに下ろすことができました。下ろされた木は、丸のこで40~50cmに輪切りにして薪にしました。そのときの丸のこも、丸山の佐古田さんからお借りしました。

山中での作業は大変でしたが、里山整備について考える機会が持てたことは貴重な体験でした。また、2日間の作業に若い人の参加があったことも、今後の協議会活動や里山整備の進展に希望の光が見え、頼もしく思いました。

